

**医薬品・医療機器等安全性情報 No.259****重要な副作用等に関する情報**

以下の医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について改訂内容を示す。

**リン酸二水素ナトリウム一水和物・無水リン酸水素二ナトリウム(商品名:ピジクリア錠(当院採用なし))**

**<経口腸管洗浄剤>**

**[警告]** 重篤事象として、急性腎不全、急性リン酸腎症(腎石灰沈着症)があらわれることあり。このような事象が発現した場合、永続的な腎機能障害に至ることが多く、長期にわたり透析が必要となることもあるため、予め十分な問診・観察を行い、次の高リスクに該当する患者には慎重投与(高齢者、循環血液量の減少・腎疾患・活動期の大腸炎のある患者、腎血流量・腎機能に影響を及ぼす薬剤(利尿剤、アンジオテンシン変換酵素阻害薬、アンジオテンシン受容体阻害薬、NSAIDs等)使用中患者)。

**[禁忌]** 胃腸管閉塞症又はその疑い(リン酸ナトリウムの過度の吸収を促すおそれあり)

重篤な腎機能障害、急性リン酸腎症の患者(腎機能障害を悪化させることあり)

**[重要な基本的注意]**

飲水について注意すること

- ・本剤を服用する際の飲水について
- ・検査前日から本剤服用前後の飲水について

大腸内視鏡検査の前処置により、脱水状態があらわれることあり、検査前日から本剤服用前後は適度に水分摂取させること。

急性腎不全、急性リン酸腎症

服用後に重篤な急性腎不全、急性リン酸腎症(腎石灰沈着症)があらわれたとの報告あり。大腸内視鏡検査実施後においても、腎機能低下を疑わせる所見(浮腫、尿量減少、持続する全身倦怠感等)があらわれた場合には、速やかに受診するよう指導。

**[重大な副作用] 急性腎不全、急性リン酸腎症**

副作用報告(因果関係が否定できないもの)件数(平成19年6月～平成21年4月14日)

急性腎不全等の重篤な腎機能障害:13例(うち死亡0例)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.info.pmda.go.jp/>)  
又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能。

**「効能・効果」、「用法・用量」追加のお知らせ****プログラフカプセル(一般名:タクロリムス水和物) <免疫抑制剤>**

**【効能・効果】** 難治性(ステロイド抵抗性、ステロイド依存性)の活動期潰瘍性大腸炎(中等症～重症に限る)

**【用法・用量】** 1回0.025 mg/kgを1日2回朝夕食後投与。以後2週間、目標血中トラフ濃度を10～15 ng/mL、2週以降は、5～10 ng/mLとし、モニタリングしながら投与量調節(通常投与期間3ヵ月まで)。

**レミケード点滴静注(一般名:インフリキシマブ(遺伝子組換え)) <抗ヒトTNFモノクローナル抗体製剤>**

**【効能・効果】** 関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)

**【用法・用量】** <関節リウマチ>6週の投与以後、効果不十分又は効果が減弱した場合、投与量増量や投与間隔短縮可能(段階的に行う)。1回投与量上限は、8週間隔:10 mg/kg、投与間隔短縮:6 mg/kg(最短投与間隔4週間)。

## 包装変更、製造方法変更のお知らせ

### カルブロック錠(一般名:アゼルニジピン) <カルシウム拮抗剤>

PTPシート小型化、錠剤サイズ等の変更なし。

	変更前	変更後
PTPシートサイズ(mm)	115×37	94×37

### エンブレル皮下注シリンジ(一般名:エタネルセプト(遺伝子組換え))

#### <完全ヒト型可溶性 TNF /LT レセプター製剤>

製造工程において、ウシ由来成分を除いた培地(無血清培地)を用いる製造方法へ変更。

## 新規採用常備医薬品等のお知らせ

今回の薬事委員会において、新規常備医薬品17品目、剤形・規格追加医薬品8品目、切り替え医薬品7品目、削除医薬品25品目が承認されました。詳細につきましては、紙面末に医薬品集の追補版とともに掲載しています。

Drug Safety Update No.181 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 : 最重要 : 重要 無印: その他

成分名(薬品名)	主な改訂内容
フェニトイン (アルビアチン錠・散) フェニトインナトリウム (アルビアチン注)	重大な副作用: ・横紋筋融解症...筋肉痛、脱力感、CK(CPK)上昇、血中及び尿中ミカドニン上昇等があらわれた場合、投与中止、適切な処置。急性腎不全の発症に注意。 ・急性腎不全、間質性腎炎...異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。
アミトリプリン塩酸塩 (トリプタール錠) イミプラミン塩酸塩(トファニル錠) クロミプラミン塩酸塩 (アフアニル錠・注) セフトリンソレイン酸塩 (テソール錠) トラゾドン塩酸塩 (レスリン錠) フルトリプリン塩酸塩(フルトリン錠) マプロチリン塩酸塩(ルジオニル錠) ミアンセリン塩酸塩 (テラミド錠)	慎重投与: ・脳の器質障害又は統合失調症の素因のある患者、衝動性が高い併存障害を有する患者(精神症状を増悪させることあり) ・自殺念慮又は自殺企図の既往、自殺念慮のある患者(自殺念慮、自殺企図があらわれることあり) 重要な基本的注意: 不安、焦燥、興奮、パニック発作、不眠、易刺激性、敵意、攻撃性、衝動性、アカシア/精神運動不穏、軽躁、躁病等があらわれることあり。因果関係は明らかでないが、これらの症状・行動を来した症例において、基礎疾患の悪化又は自殺念慮、自殺企図、他害行為が報告されている。患者の状態及び病態変化を注意深く観察。家族等に自殺念慮や自殺企図、興奮、攻撃性、易刺激性等の行動の変化及び基礎疾患悪化があらわれるリスク等について十分説明、医師と緊密に連絡を取り合うよう指導。
ベリミサルタン (ミカデイス錠)	重大な副作用: 間質性肺炎...発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常等を伴う間質性肺炎があらわれることあり、投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等の適切な処置。
プロホパロールデップリン注・キット)	その他の注意: 集中治療における人工呼吸中の鎮静目的で本剤投与を受けた重篤な患者において、因果関係は確立していないが、代謝性アシドーシス、横紋筋融解症、高カリウム血症、心不全が発現し、数例が死亡に至った報告あり。これらの症状を発現した患者の背景として、組織への酸素供給の低下、重大な神経学的な障害(頭蓋内圧亢進等)や敗血症、血管収縮剤・スロイド・強心剤・本剤の高用量投与が報告されている。

<p>臭化加カム (臭化加カム)        イトクミド (ザンチンロップ)        柴胡加竜骨牡蛎湯 てんかんの        の効能を有する製剤 (ツム        柴胡加竜骨牡蛎湯イヌ顆粒)        ニトセバム (ベンザリン錠・細粒)        フェバルピタル        (フェバルピタル散・イリキシル・注)        カロセバム (リボトリル錠・細粒)        カロバザム (マイスタ錠・細粒)        フェイトン (アルビアチン錠・散)        フェイトンナトリウム (アルビアチン注)        プリミドン (プリミドン錠・細粒)        アセトアミノン (ダイアモクス末・錠)        アセトアミノンナトリウム(ダイアモクス注)</p>	<p>その他の注意：海外で実施された複数の抗てんかん薬における、てんかん、精神疾患等を対象とした199のプラセボ対照臨床試験の検討結果において、自殺念慮及び自殺企図の発現リスクが、抗てんかん薬の服用群でプラセボ群と比較して約2倍高く(抗てんかん薬服用群:0.43%、プラセボ群:0.24%)、抗てんかん薬の服用群では、プラセボ群と比べ1000人あたり1.9人多いと計算された(95%信頼区間:0.6-3.9)。また、てんかん患者のサブグループでは、プラセボ群と比べ1000人あたり2.4人多いと計算されている。</p>
<p>ガバペンチン (ガバペンチン錠)        カバマゼピン(テグレトール錠・細粒)        ゴキサミド てんかんの効能を有        する製剤 (エケクラン錠・散)        トピラマト (トピナ錠)        バルプロ酸ナトリウム        (セピカR錠・顆粒、デ        バケンシロップ・R錠、ハイレニン細粒)        ラモトリギン (ラミクタール錠)</p>	<p>その他の注意：海外で実施された本剤を含む複数の抗てんかん薬における、てんかん、精神疾患等を対象とした199のプラセボ対照臨床試験の検討結果において、自殺念慮及び自殺企図の発現リスクが、抗てんかん薬の服用群でプラセボ群と比較して約2倍高く(抗てんかん薬服用群:0.43%、プラセボ群:0.24%)、抗てんかん薬の服用群では、プラセボ群と比べ1000人あたり1.9人多いと計算された(95%信頼区間:0.6-3.9)。また、てんかん患者のサブグループでは、プラセボ群と比べ1000人あたり2.4人多いと計算されている。</p>
<p>フェバルピタル        (フェバルピタル散・イリキシル・注)        フェバルピタルナトリウム        (ワコピタル坐剤)</p>	<p>併用注意：        ・中枢神経抑制剤(トピラマト等)        ・主にCYP3A4で代謝される薬剤(エンテカスト等)        重大な副作用：        ・紅皮症(剥脱性皮膚炎)        ...発熱、紅斑、水疱、びらん、痒痒感、咽頭痛、眼充血、口内炎等の異常が認められた場合、投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等の適切な処置。        ・過敏症候群...初期症状として発疹、発熱がみられ、さらに臓器障害等を伴う遅発性の重篤過敏症状があらわれることあり、十分観察、投与中止、適切な処置。        ヒトヘルペスウイルス6(HHV-6)等のウイルスの再活性化を伴うことが多い。        ・顆粒球減少、血小板減少、肝機能障害、呼吸抑制...十分観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。</p>
<p>フェバルピタル        (フェバルピタル散・イリキシル・注)        フェバルピタルナトリウム        (ワコピタル坐剤)        カバマゼピン(テグレトール錠・細粒)        フェイトン (アルビアチン錠・散)        フェイトンナトリウム (アルビアチン注)        プリミドン (プリミドン錠・細粒)</p>	<p>併用注意：        ・ラモトリギン        臨床症状・措置方法...ラモトリギン血中濃度低下。ラモトリギン作用減弱、用量注意。本剤減量又は中止する場合は、ラモトリギン血中濃度上昇に注意。        機序・危険因子...ラモトリギンのグルクロン酸抱合促進。        ・アセトアミノン(カバマゼピンを除く)        臨床症状・措置方法...本剤長期連用者は、アセトアミノン代謝物による肝障害を生じやすくなる。        機序・危険因子...肝薬物代謝酵素誘導により、アセトアミノンから肝毒性を持つN-アセチル-p-ベンゾキノンイミンへ代謝促進。</p>
<p>フェバルピタル イリキシル剤        (フェバルピタルイリキシル)</p>	<p>禁忌：加モフル、プロカバジン塩酸塩        併用禁忌：加モフル、プロカバジン塩酸塩        臨床症状・措置方法...アルコール反応(血圧降下等)        併用注意：        N-メチルテトラゾール基を有するセフィム系抗生物質(セフメキシム塩酸塩等)、メロキサム        臨床症状・措置方法...アルコール反応(顔面潮紅、悪心、頻脈、多汗、頭痛等)を起こすおそれあり。        機序・危険因子...イリキシル剤はエタノール含有しているため。</p>
<p>フェバルピタル 注射剤        (フェバルピタル注)</p>	<p>適用上の注意：投与経路...静注できない。        アンプルカット時...アンプルの首部をエタノール綿等で清拭してからカット。</p>
<p>ガバペンチン(ガバペンチン錠)</p>	<p>用法・用量に関連する適用上の注意：        腎機能障害のある患者、血液透析を受けている患者に対する投与</p>

	...腎機能低下者を対象とした国内外試験成績も踏まえ、用法・用量を調節。 その他の副作用：その他...浮腫
加バマセピソ(テグレトール錠・細粒)	併用注意：エチコブ、ダサコブ、コチコブ、マレロク、イトピリソ
ゾニサド てんかんの効能を有する製剤 (エケグリン錠・散)	併用注意：抗てんかん剤(フェバロル等) その他の注意：海外臨床試験における自殺念慮および自殺企図の発現率は0.45%であり、プラセボ群では0.23%だった。
ヒマート (ヒナ錠)	妊・産・授乳婦等への投与：妊娠中に投与された患者が奇形(口唇裂、口蓋裂、男児の尿道下裂)を有する児を出産したとの報告あり。
バルロ酸ナトリウム (セニカR錠・顆粒、デパケンソップ・R錠、ハイレコン細粒)	禁忌、併用禁忌：レパセピホキソ
フェニトイン (アルビアチン錠・散) フェニトインナトリウム (アルビアチン注)	併用注意： ・ヒマート、主にCYP3A4で代謝される薬剤 臨床症状・措置方法...これら薬剤の作用減弱することあり、用量注意。 ・ジゾキト 臨床症状・措置方法...本剤作用減弱、けいれん等のてんかん発作発現に注意。 重大な副作用： ・皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死症(Lyell症候群) ...発熱、紅斑、水疱・びらん、そう痒感、咽頭痛、眼充血、口内炎等の異常が認められた場合、投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等の適切な処置。 ・過敏症症候群...初期症状として発疹、発熱がみられ、臓器障害等を伴う遅発性の重篤な過敏症状があらわれることあり、十分観察、投与中止、適切な処置。ヒトヘルペスウイルス6(HHV-6)等のウイルスの再活性化を伴うことが多い。 ・SLE様症状...発熱、紅斑、関節痛、肺炎、白血球減少、血小板減少、抗核抗体陽性等があらわれることあり、十分観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。 ・再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、単球性白血病、血小板減少、溶血性貧血、赤芽球癆...十分観察、異常が認められた場合、減量又は投与中止など適切な処置。 ・間質性肺炎...発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、好酸球増多等を伴う間質性肺炎があらわれることあり、このような症状があらわれた場合、投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等の適切な処置。 その他の副作用： ・精神神経系...けいれん・てんかん増悪 ・その他...CK(CPK)上昇、免疫グロブリン低下(IgA、IgG等)
フェニトインナトリウム (アルビアチン注)	重大な副作用：強直発作...十分観察、症状があらわれた場合、投与中止などの適切な処置。
ラモトリグソ (ラミクタール錠)	妊・産・授乳婦等への投与：ヒト乳汁中へ移行し、授乳中の乳児における血中濃度は、授乳中の婦人の血中濃度の最大約50%に達したとの報告あり。
セロコシブ (セロコックス錠)	その他の副作用： ・全身...ほてり ・精神神経系...体位性めまい、感覚鈍麻 ・肝胆道系...尿ビリルビン陽性 ・消化器...上腹部痛、胃不快感、アタ性口内炎、口腔粘膜水疱形成、心窩部不快感、胃腸炎 ・泌尿器...腎機能障害 ・呼吸器...鼻咽頭炎 ・皮膚...薬疹、紅斑 ・感覚器...眼そう痒症 ・その他...細菌性腸炎、頸部痛
ヒニコール塩酸塩 (レキップ錠)	慎重投与：血液透析を受けている患者に対して、透析による用量調節の必要性はない。
クロミドアミン塩酸塩 (アフラニール錠・注)	その他の副作用：精神神経系...意識障害 妊・産・授乳婦等への投与： 海外で実施されたレトロスペクティブな疫学調査で、妊娠初期に投与された患者群において、胎児での心血管系異常(心室又は心房中隔欠損等)の相対リスクは本剤が投与されていない患者群に比べ高かったとの報告がある。
クロミドアミン塩酸塩 注射剤 (アフラニール注)	その他の副作用：その他...注射部位反応(紅斑、静脈炎、疼痛等)
塩酸セトラリン (ジエイロコ錠)	併用注意：リネゾリド 臨床症状・措置方法...セトロン症候群の症状(錯乱、協調運動障害、血圧上昇等)があらわ

	<p>れることあり。このような症状があらわれた場合には、本剤と併用薬の両方あるいはいずれか一方の投与中止など適切な処置。</p> <p>機序・危険因子...リゾリドは非選択的、可逆的 MAO 阻害作用を有する。</p>
<p>リスパリドン 経口剤 (リスパリドン錠・細粒・内用液)</p>	<p>禁忌：本剤成分過敏症既往歴</p> <p>慎重投与：・不整脈既往歴、先天性 QT 延長症候群患者又は QT 延長を起こすことが知られている薬剤を投与中患者（本剤投与により QT 延長する可能性あり）。</p> <p>・パキソン病又はレビー小体型認知症患者（悪性症候群が起こりやすくなる。錐体外路症状の悪化に加え、錯乱、意識レベルの低下、転倒を伴う体位不安定等の症状発現）。</p> <p>併用注意：</p> <p>・CYP2D6 を阻害する薬剤（パロチン等）</p> <p>臨床症状・措置方法...本剤及び活性代謝物の血中濃度上昇。</p> <p>機序・危険因子...これら薬剤の薬物代謝酵素阻害作用。</p> <p>・肝代謝酵素誘導作用を有する薬剤（フェニトイン、リファンピシム、フェバロキサール）</p> <p>機序・危険因子...これら薬剤の薬物代謝酵素誘導により、本剤代謝促進。</p> <p>その他の副作用：</p> <p>・感染症および寄生虫症...気管支炎、鼻咽頭炎、咽頭炎、肺炎、胃腸炎、感染、膀胱炎、耳感染、インフルエンザ、限局性感染、下気道感染、鼻炎、副鼻腔炎、皮下組織膿瘍、上気道感染、尿路感染、ウイルス感染</p> <p>・免疫系障害...アザチオプリン反応、過敏症（異常が認められた場合には、投与中止などの適切な処置）。</p> <p>・耳および迷路障害...耳痛、回転性めまい</p> <p>・傷害、中毒および処置合併症...転倒・転落、引っかき傷、処置による疼痛</p> <p>・血液およびリンパ系障害...血小板減少症、無顆粒球症、好中球減少症</p> <p>・内分泌障害</p> <p>・代謝および栄養障害...多飲症、食欲減退、高尿酸血症、水中毒</p> <p>・精神障害...うつ病、躁病、被害妄想、精神症状、睡眠障害、リドール減退、神経過敏</p> <p>・神経系障害...精神運動亢進、無動、注意力障害、構語障害、よだれ、嗜眠、錯感覚、末梢性ニューロパチー、協調運動異常、過眠症、失神</p> <p>・眼障害...視力低下、眼脂、結膜炎、網膜動脈閉塞、霧視</p> <p>・心臓障害...洞性頻脈、心室性期外収縮、第一度房室ブロック、右脚ブロック、上室性期外収縮、徐脈、左脚ブロック、洞性徐脈</p> <p>・血管障害...低血圧</p> <p>・呼吸器、胸郭および縦隔障害...呼吸困難、咳嗽、鼻漏、副鼻腔うっ血、睡眠時無呼吸症候群、口腔咽頭痛</p> <p>・胃腸障害...口内乾燥、胃炎、消化不良、上腹部痛、腸閉塞、膵炎、歯痛</p> <p>・肝胆道系障害</p> <p>・皮膚および皮下組織障害...そう痒症、湿疹、ざ瘡、脱毛症、血管浮腫、皮膚乾燥</p> <p>・筋骨格系および結合組織障害...筋肉痛、筋力低下、背部痛、四肢痛、関節痛、姿勢異常、筋骨格痛、頸部痛、筋骨格系胸痛</p> <p>・腎および尿路障害</p> <p>・生殖系および乳房障害...無月経、不規則月経、性機能不全、乳房不快感、月経遅延、希発月経</p> <p>・全身障害および投与局所様態...胸部不快感、胸痛、顔面浮腫、末梢性浮腫、疼痛、不活発、低体温、インフルエンザ様疾患</p> <p>・臨床検査...ALT(GPT)増加、AST(GOT)増加、血中ブドウ糖増加、LDH 増加、血中プロラクチン増加、血中ナトリウム減少、γ-GTP 増加、グリコヘレクシオン増加、総蛋白減少、体重減少、尿中蛋白陽性、AI-P 増加、血中尿酸増加、尿中血陽性、肝酵素上昇、心電図 QT 延長、心電図 T 波逆転</p> <p>妊・産・授乳婦等への投与：妊娠後期投与により、新生児に錐体外路症状みられることあり。</p> <p>小児等への投与：低出生体重・新生・乳・幼小児に対する安全性は確立していない。</p>
<p>プロピルカルボン塩酸塩水和物 脊椎 麻酔用 (マロニ注脊麻用)</p>	<p>慎重投与：身長の高い患者（血圧低下の発現率が高くなる傾向あり。麻酔範囲が広がりやすいので、投与量減量考慮、十分観察）。</p>
<p>プロロキソニド 塩酸塩 (アマリソン錠・注)</p>	<p>禁忌、併用禁忌：トリアメフェン酸塩</p>
<p>アゼリジピン (カルロキ錠)</p>	<p>重大な副作用： 房室ブロック、洞停止、徐脈...めまい、ふらつき等の異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p>

	その他の副作用：口腔...歯肉肥厚
加ベジロール (アチスト錠)	併用注意： 利尿降圧剤 臨床症状・措置方法...降圧作用増強。併用時は用量に注意。 機序・危険因子...相加的に降圧作用増強。
ロカルタカウム (ニューロタン錠)	その他の副作用：その他...勃起不全
桜皮エキス アヘンチキ (ブドウ液) (アヘンチキ)	禁忌：ジスルフィラム、シアミド、加モール、プロカルバジン塩酸塩 併用禁忌：ジスルフィラム、シアミド、加モール、プロカルバジン塩酸塩 臨床症状・措置方法...これら薬剤とのアルコール反応（顔面潮紅、血圧降下、悪心、頻脈、めまい、呼吸困難、視力低下等）起こすおそれあり。 機序・危険因子...エタノールを含有しているため。 併用注意： N-メチルテトラゾールチオキシル基を有するセフェム系抗生物質（セフェキシム塩酸塩、セフトラゾキサリウム、セフトラゾキサリウム水和物、セフトラゾキサリウム、ラモセフトラゾキサリウム）、メロキサロム 臨床症状・措置方法...これら薬剤とのアルコール反応（顔面潮紅、悪心、頻脈、多汗、頭痛等）を起こすおそれあり。 機序・危険因子...エタノールを含有しているため。
トリアシノロンアセトド (ケコルト-A 筋注用・皮内用関節腔内用注)	その他の副作用： 投与部位...関節腔内投与時 結晶誘発性滑膜炎（投与部位に疼痛・腫脹等があらわれることあり。注射液中の粒子の凝集が関節腔内投与時の疼痛・腫脹等を誘発するおそれあり。）
シロドシ (ユリフ錠)	その他の副作用：精神神経系...しびれ
ダルベリナトリウム (フグミン静注)	原則禁忌：本剤成分又は $\text{Na}^+$ イオン、他の低分子量 $\text{Na}^+$ イオンに対し過敏症既往歴
モンテラセ 遺伝子組換え (クリアクター静注用)	併用注意： ・血液凝固阻止作用を有する薬剤（低分子量 $\text{Na}^+$ イオン、Xa阻害剤等） ・血小板凝集抑制作用を有する薬剤（クビドグレル硫酸塩等）
オハルミン塩酸塩 (グリコタン錠)	重要な基本的注意： ヨド造影剤を用いて検査を行う患者においては、本剤併用により乳酸アシドーシスを起こすことあり、検査前は本剤投与を一時的に中止（緊急に検査を行う必要がある場合を除く）。ヨド造影剤投与後48時間は本剤投与再開しない。投与再開時には患者の状態に注意。 併用注意：ヨド造影剤 臨床症状・措置方法...併用により乳酸アシドーシスを起こすことあり。本剤投与を一時中止。 機序・危険因子...腎機能低下し、本剤排泄低下。
アタリムマブ 遺伝子組換え (ヒュミラ皮下注)	慎重投与：・重篤な血液疾患の患者又は既往歴のある患者（血液疾患悪化のおそれあり） ・間質性肺炎既往歴（増悪又は再発することがある） 重大な副作用：敗血症、肺炎等の重篤な感染症...細菌、真菌（ニューモシステリス等）、ウイルス等の日和見感染によるもの。 その他の副作用：皮膚...帯状疱疹
オマリブマブ (イルファット注)	重大な副作用： 間質性肺炎、肺繊維症...発熱、咳嗽、呼吸困難等の臨床症状を十分観察、異常が認められた場合、投与中止、胸部X線等の検査実施、副腎皮質ホルモン剤投与等の適切な処置。 その他の副作用：＜併用投与時＞ ・精神神経系...筋骨格硬直（硬直、こわばり）、振戦 ・肝臓... $\gamma$ -GTP上昇 ・循環器...動悸 ・呼吸器...発声障害（嚙声） ・皮膚...皮膚剥脱 ・その他...コレステロール上昇、アミラーゼ上昇、耳鳴、CK(CPK)上昇
トラスツマブ 遺伝子組換え (ハセプチン注)	妊・産・授乳婦等への投与： 本剤投与した妊婦に羊水過少が起きたとの報告あり。羊水過少を発現した症例で、胎児・新生児の腎不全、胎児発育遅延、新生児呼吸窮迫症候群等が報告されている。
シロドシ 水分負荷がかけられない場合に希釈せずに投	用法・用量に関連する使用上の注意： 通常、希釈して緩急に注入。すでに補液等が投与されている場合、側管に連結して投

与できる製剤 (シドニ注)	与可。ただし、薬剤によっては配合変化を生じるので注意。著しい水分摂取制限がかかっている場合等、水分負荷がかけられない場合には希釈せずに投与することができるが、その際にはできるだけ太い静脈から投与。
メキシチサン塩酸塩 経口剤 (アロックス錠)	<p>慎重投与：重症筋無力症（症状を悪化させることがある）</p> <p>重大な副作用：皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群） 中毒性表皮壊死症（Lyell 症候群） 重症筋無力症の悪化 ...十分観察、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p> <p>併用注意：フェニ酢酸系又はプロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤（ロキソロン等） 臨床症状・措置方法...本剤を併用した場合、痙攣を起こすおそれあり。</p> <p>重大な副作用：QT 延長（女性及び高齢者では QT 間隔が延長しやすい）</p> <p>その他の副作用：・循環器...頻脈 ・消化器...口内炎</p> <p>高齢者への投与：QT 間隔が延長しやすい傾向が認められている。</p>
リネプリド (ザイックス錠・注)	<p>併用注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤（塩酸レキリソ） 臨床症状・措置方法...相加的に作用し血圧上昇等。 機序・危険因子...非選択的、可逆的 MAO 阻害作用を有する。</li> <li>・リファンピリン 臨床症状・措置方法...本剤 Cmax 及び AUC がそれぞれ 21% 及び 32% 低下。 機序・危険因子...機序不明。</li> </ul>
レボフロキサシ水合物 錠剤 100mg (クレビット錠)	<p>用法・用量に関連する使用上の注意：炭疽の発症及び進展抑制には、欧州医薬品庁(EMA)が 60 日間投与推奨。</p> <p>慎重投与：重篤な心疾患（不整脈、虚血性心疾患等）(QT 延長を起こすことあり)。</p> <p>重大な副作用：・QT 延長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溶血性貧血（症状：ヘモグロビン尿等）</li> <li>・アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害（症状：腱周辺の痛み、浮腫等）(60 歳以上の患者、コルチステロイド剤を併用している患者、臓器移植既往患者であらわれやすい)</li> <li>・せん妄、抑うつ</li> </ul> <p>その他の副作用：・感覚器...耳鳴、味覚異常、視覚異常、嗅覚錯誤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器...動悸、低血圧、頻脈</li> <li>・精神神経系...傾眠、末梢神経障害、ぼんやり</li> <li>・腎臓...尿蛋白陽性</li> <li>・肝臓...LDH 上昇、肝機能異常、血中ビリルビン増加</li> <li>・血液...白血球数減少、好酸球数増加、好中球数減少、血小板数減少、リンパ球数減少</li> <li>・消化器...腹部不快感、胃腸障害</li> <li>・その他...熱感、浮腫、胸部不快感、四肢痛、咽喉乾燥、CK(CPK)上昇、尿中ブドウ糖陽性</li> </ul>

1. 新規常備依頼医薬品 (合計 17 品目)

平成 21 年 8 月 4 日 (火) よりオーダ開始

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アトコ <sup>®</sup> リ <sup>®</sup> -ス静注シ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup>	注	3mL/本 6mL/本	404 615	テル <sup>®</sup>	Neostigmine methylsulfate /Atropine sulfate hydrate 副交感神経興奮剤 ネオスチグミンとアトロピンを 2:1 割合で配合した製剤 プレフィルド <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> 製剤 清潔、調製簡便、調製時間短縮、薬剤取り違え、操作時の針刺し事故防止可能 【発売：2008.10.1】
エカト <sup>®</sup> 配合錠 HD	錠	カンテ <sup>®</sup> サルタンシ <sup>®</sup> レキ <sup>®</sup> チ <sup>®</sup> ル 8mg/ヒド <sup>®</sup> ロ <sup>®</sup> クロ <sup>®</sup> チ <sup>®</sup> アジ <sup>®</sup> ド 6.25mg	163.7	武田	Candesartan cilexetil /hydrochlorothiazide ARB 効果不十分例にも効果を示す 1錠で 2 剤含有により、利便性・コ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> プ <sup>®</sup> ライア <sup>®</sup> ンス・経済性の向上 【発売：2009.3.13】
エプ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ユ <sup>®</sup>	錠	ラミ <sup>®</sup> ブ <sup>®</sup> ジ <sup>®</sup> ン 300mg/ア <sup>®</sup> バ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup> ビ <sup>®</sup> ル 600mg	3,870.5	グラク <sup>®</sup> スミ <sup>®</sup> クライン	Lamivudine/Abacavir sulfate 抗 HIV 薬 ヌクレオチド系逆転写酵素阻害剤であるラミブジン、アバカビルの 2 剤を配合する薬剤 1日 1回 1錠と簡便な用法・用量 服薬コ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> プ <sup>®</sup> ライア <sup>®</sup> ンスの向上 食事の影響なく、低い腎障害リスク プロテアーゼ阻害剤との少ない相互作用 【発売：2005.1.7】
コ <sup>®</sup> エ <sup>®</sup> イ <sup>®</sup> 配 合錠 EX	錠	バル <sup>®</sup> サルタン/ヒド <sup>®</sup> ロ <sup>®</sup> クロ <sup>®</sup> チ <sup>®</sup> アジ <sup>®</sup> ド 12.5mg	139.3	バル <sup>®</sup> ル <sup>®</sup> イ <sup>®</sup>	Valsartan/hydrochlorothiazide 1錠で 2 剤含有により、利便性・コ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> プ <sup>®</sup> ライア <sup>®</sup> ンス・経済性の向上 従来(バルサルタン 80mg：薬価 136.2)の治療法と比較して、経済性は変わらない。 【発売：2009.3.13】
コ <sup>®</sup> バ <sup>®</sup> ガ <sup>®</sup> ス	錠	200mg	774.3	中外	Ribavirin 抗ウイルス剤 バガシとの併用療法でのみ保険適応あり 自覚的副作用はバガシにおいて軽微 【発売：2007.3.16】
ス <sup>®</sup> -テ <sup>®</sup> ント <sup>®</sup> カ <sup>®</sup> ピ <sup>®</sup>	Cap	12.5mg	8546.2	ファイ <sup>®</sup> -	Sunitinib malate 抗悪性腫瘍剤(チ <sup>®</sup> キ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> 阻害剤) 根治切除不能又は転移性腎細胞癌、イマチニブ <sup>®</sup> 抵抗性消化管間質腫瘍用薬 複数のチ <sup>®</sup> キ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> チ <sup>®</sup> キ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> 活性を阻害 抗腫瘍効果、血管新生阻害作用 1日 1回経口投与 海外においてインターフェロ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> アルファ(IFN )との比較試験で有意に良好であった(無増悪生存期間：スチ <sup>®</sup> ニ <sup>®</sup> ブ <sup>®</sup> 群 11ヵ月、IFN 群 5ヵ月、奏効率：スチ <sup>®</sup> ニ <sup>®</sup> ブ <sup>®</sup> 群 31%、IFN 群 6%) 【発売：2008.6.13】



タフロプロスト点眼液 0.0015%	点眼	0.0015%/2.5mL	960/mL	参天	Tafloprost 緑内障・高眼圧症治療剤 従来品(トラバプロスト)と比較してプロスタグランジンFP受容体への10倍以上の親和性 正常眼圧緑内障に対しても有効 室温保存可能  【発売：2008.12.16】
トラバプロスト点眼液 0.004%	点眼	0.004%/2.5mL	983.6/mL	日本アルコン	Travoprost 緑内障・高眼圧症治療剤 眼圧下降作用に関連している選択的FP受容体アゴニスト 塩化ベンザルコニウム非含有のため、角膜上皮細胞や結膜細胞への影響が少ない  【発売：2007.10.25】
ヒュミラ皮下注射シリンジ	注	40mg/0.8mL/本	71,097	エーザイ	Adalimumab (genetical recombination) 抗リウマチ薬(完全ヒト型抗TNF-モノクローナル抗体製剤) 完全ヒト型 アブリアキシン様症状軽減 半減期約12.4日と持続性あり 2週に1回皮下投与で有効 プレフィルドシリンジ製剤 自己注射可能 単独投与可能(MTX併用は必須ではない)  【発売：2008.6.18】
プラチン	注	10mg/V 25mg/V 50mg/V	2,878 6,601 12,098	協和発酵キリン	Cisplatin 抗悪性腫瘍剤 シリンジ注の後発品 シリンジ注と製剤学的,生物学的に同等 コスト削減可能 シリンジ 10mg(常備薬):3,465 25mg(常備薬):8,583 50mg(常備薬):15,133  【発売：1993.3.8】
ポビドンヨード含嗽剤 7%	外用液	30mL/本 250mL/本	78/本 650/本	日本新薬	Povidone iodine 含嗽剤 イソジン含嗽剤の後発品 イソジン含嗽剤と製剤学的,生物学的に同等 コスト削減可能 イソジン含嗽剤 30mL(常備薬):105/本 250mL(常備薬):875/本  【発売：1990.10.16】
マクゼン硝子体内注射用キット	注	0.3mg/本	123,457	ファイザー	Pegaptanib Sodium 加齢黄斑変性症治療薬 本邦初の抗VEGFアプタマ製剤 選択的VEGF165阻害剤 少ない全身性副作用 プレフィルドシリンジ製剤 清潔、調製簡便 希少疾病用医薬品  【発売：2008.10.14】
ワイドシリン細粒200	散	200mg/g	16.1/g	明治製菓	Amoxicillin hydrate ペニシリン系抗生物質 力価2倍(20%)のため、従来品(ワイドシリン細粒10%)と比較して服用製剤量が半分になり、高用量の治療可能 小児に対して有用 ワイドシリン細粒10%の後発品  【発売：1981.9.1】

2. 剤形・規格追加医薬品 ( 合計 8 品目 )

商 品 名	剤 形	規 格	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効
イメロソ 350 シリンジ	注	135mL/本 (ヨト 350mg)	18,353	エーザイ	lomeprol X線造影剤(ヨト製剤) 350mgI/mL製剤で初めて100mLを上回る高容量シリンジ 肝臓ダ付ミックCT検査において体重の重い症例(56kg以上)で優れた造影効果 【発売：2008.11.7】
エポジン注 シリンジ	注	750IU/0.5 mL/本	1,383	中外	Epoetin (genetical recombination) 遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤 プレフィルドシリンジ製剤 清潔、調製簡便、調製時間短縮、操作時の針刺し事故防止可能 【発売：2001.5.7】
ジスロマック SR 成人用 ドライシロップ	散	2g/瓶	2,103/2 g	ファイザー	Azithromycin Hydrate マクロライド系抗生剤 徐放化製剤であり、1回服用で1週間効果持続 単回投与可能 PRSP、BLNARといった耐性菌に対して有効 【発売：2009.4.6】
ゾラテックス LAデポ	皮下埋込 用注	10.8mg	82,744	アストラゼネカ	Goserelin acetate 抗悪性腫瘍剤(ホルモン療法剤) LH-RHアナログ 12~13週毎の用法であり、患者の生活スタイルに合わせやすい 使用後の針刺し事故防止機能付投与キット 安全、清潔、調製簡便 【発売：2002.4.26】
ヒューマログ 注ミリアン	注	300IU /3mL/本	1,906	イーライリリー	Insulin lispro (genetical recombination) 超速効型インスリンアナログ製剤 インスリンカートリッジが注入器にセットされたプレフィルド製剤 カートリッジ交換不要 単位調整が簡便 視力障害患者にも比較的安 全に使用可能 食直前(15分以内)投与 簡便、QOL向上 ヒューマカート製剤は名称変更でパリアル製剤と似た名称になることから、リスマネジメントから切り替え(ヒューマカートRはヒューマリンR注カート、ヒューマカートNはヒューマリンN注カートへ名称変更) 【発売：2008.6.20】
ヒューマログ ミックス50注 ミリアン	注	300IU /3mL/本	1,909		<ヒューマログミックス50> 超速効型50%配合の唯一のアナログ混合型製剤 【発売：2008.6.20】
ランタス注 ソスター	注	300IU /3mL	2,457	サノフィアベンティス	Insulin glargine(genetical recombination) 持効型溶解インスリンアナログ製剤 インスリンカートリッジが注入器にセットされたプレフィルド製剤 カートリッジ交換不要 単位調整が簡便 視力障害患者にも比較的安 全に使用可能 他の製剤(フレックスペン)より30%注入圧が軽い 【発売：2008.6.20】
ペンタサ	錠	500mg	118.8	杏林	Mesalazine 潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬 250mg錠2錠を500mg錠1錠へ変更可能で内服錠数を減少 コンプライアンス向上 【発売：2008.10.1】

3. 切り替え医薬品 (合計 7 品目)

商 品 名	剤 形	規 格	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効
イソジン ガーパスタ	軟膏	100g/本	1,720/ 本	明治	Purified sucrose/Povidone iodine 褥瘡・皮膚潰瘍治療剤 ユーパスタ軟膏の後発品 ユーパスタ軟膏と同等の効果 ユーパスタ軟膏と切り替え 【発売：2003.9.2】
ウインタミン	細粒	100mg/g	7.1/g	塩野義	Chlorpromazine phenolphthalinate 抗精神病薬 コトミン散 10%販売中止のため、代替薬 ケルプロマジン製剤で散剤の剤形は本剤だけである コトミン散 10%と切り替え 【発売：1977.10.1】
加ナール	細粒	200mg/g	9.4/g	昭和 薬化	Acetaminophen 解熱鎮痛剤 ピリザン末の後発品 ルンゾ風味となっており小児でも服用しやすい ピリザン末と同等の効果 ピリザン末と切り替え 【発売：2004.7.9】
デュロテップ MTパッチ	貼付 剤	4.2mg/枚 8.4mg/枚	3,467.8 6,538.9	ヤンセン ファーマ	Fentanyl オピオイド系鎮痛剤 経皮吸収型持続性癌性疼痛治療剤 デュロテップパッチ販売中止のため、代替薬 デュロテップパッチと同様の放出速度 アルコールを非含有 デュロテップパッチと切り替え 【発売：2008.7.7】
バルミン消 泡液	内用 液	300mL/本 20mg/mL	810	カゲン	Dimethylpolysiloxane(Dimethicone) 消化管内有泡性粘液除去剤 ガスコンドロップの後発品 ガスコンドロップと同等の効果 ガスコンドロップと切り替え 【発売：1992.9.1】
ボトックス	注	50 単位/V	51,062	グラク スミ クライン	Botulinum Toxin Type A A型ボツリヌス毒素製剤 現在の使用量の多くが50単位以内であるため、100単位 製剤を使用するより経済的である 50 単位製剤 1V 薬価 51,062 100 単位製剤 1V 薬価 92,249 ボトックス注 100 単位と切り替え 【発売：2009.2.23】

の医薬品は事後報告のため既にオダ可能

4. 削除医薬品 ( 合計 25 品目 )

商品名	剤形	規格	削除理由
イモロシ 300 パール	注	100mL/V	イモロシ 350 シリジ 135mL 採用のため、削除
イモロシ 350 シリジ	注	50mL/本	イモロシ 350 シリジ 135mL 採用のため、削除
イソジンガ-ゲル	外用液	30mL/本	ホピロシガ-ゲル 7% 30mL/本が採用のため、削除
イソジンガ-ゲル	外用液	250mL/本	ホピロシガ-ゲル 7% 250mL/本が採用のため、削除
エソ-	注	750IU/A	エソジン注シリジ 750IU 採用のため、削除
ガスコンド ロップ	内用液	20mg/mL	バルキン消泡液と切り替えのため削除
キダリ- AF2 号	透析液	9L	異物混入のため、削除
コントミン 10%	散	100mg/g	販売中止、ウイタミン細粒と切り替えのため削除
サリリン 10%	細粒	100mg/g	ワイドシリジ細粒 200mg/g 採用のため、削除
ジスロマック	錠	250mg	ジスロマック SR 成人用ドライシロップ 2g 採用のため、削除
テタントール	点眼液	0.01%5mL	タドロ点眼液 0.0015%採用のため、削除
テュロテップ パッチ	貼付剤	2.5mg/枚 5.0mg/枚	販売中止、テュロテップ MT パッチ 4.2mg と切り替えのため削除 販売中止、テュロテップ MT パッチ 8.4mg と切り替えのため削除
ヒューマート N	注	300IU/3mL	ヒューマログ ミックス 50 注ミリオパ ン採用のため、削除
ヒューマート R	注	300IU/3mL	ヒューマログ 注ミリオパ ン採用のため、削除
ピリナジン	末	-	加ナル細粒 20% と切り替えのため削除
ハトプティック	点眼液	0.5%5mL	トラハタズ 点眼液 0.004% ための場合、削除
ハンサ	錠	250mg	ハンサ錠 500mg 採用のため、削除
ホトックス	注	100 単位/V	ホトックス注 50 単位と切り替えのため削除
ユーパ スタコーワ	軟膏	100g/本	イソシユカ-パ スタ軟膏と切り替えのため削除
ランタ	注	10mg/V	プラシ注 10mg 採用のため、削除
		25mg/V	プラシ注 25mg 採用のため、削除
		50mg/V	プラシ注 50mg 採用のため、削除
ランタスオチリック	注	300IU/mL	ランタス注ヨスター採用のため、削除
ロゲス	錠	10mg	コイ配合錠 EX 採用のため、削除

## ペニシリン系

アモキシシリン水和物 amoxicillin hydrate(AMPC)

**ワイドシリン** Widecillin

明治製菓

コード

薬価

細粒:200mg/g

[ワイト01]

16.1

【用】1回 250mg を 1日 3～4回服用 小児:1日 20～40mg/kg を 3～4回に分服 (適宜増減) Hp除菌:1回 750mg を 1日 2回、7日間(ランソプラゾール、クラリスロマイシンとの併用)

**【禁】本剤成分ショック 伝染性単核症**

**【原禁】本剤成分又はペニシリン系抗生物質過敏症**

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群) 急性汎発性発疹性膿疱症 重篤な腎障害 重篤な大腸炎 顆粒球減少 肝機能障害 黄疸

## マクロライド系

アジスロマイシン水和物 azithromycin hydrate(AZM)

**ジスロマック** Zithromac

ファイザー

コード

薬価

SR 成人用 D.S.:2g/瓶

[シス04]

2,103

【用】[SR]2g を用時水で懸濁、空腹時 1 回服用

**【禁】本剤成分過敏症**

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群) 肝炎 肝機能障害 黄疸 偽膜性大腸炎 間質性肺炎 好酸球性肺炎 急性腎不全 QT 延長 心室性頻脈(Torsades de pointes を含む) 白血球減少 顆粒球減少 血小板減少 横紋筋融解症

【備考】15 員環マクロライド系抗生物質 (半減期)約 70 時間

## 抗ウイルス剤

リバビリン ribavirin

**コペガス** Copegus

中外

コード

薬価

錠(劇):200mg

[コヘカ01]

774.3

**【効】** ペグインターフェロン -2a との併用による次のいずれかの C 型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善:(1)セログループ 1(ジェノタイプ I(1a)又は II(1b))で HCV-RNA 量が高値の患者 (2)IFN 単独療法で無効又は IFN 単独療法後再燃患者

**【用】** ペグインターフェロン -2a と併用すること 朝夕食後投与(60kg 以下:1日 600mg[朝:200mg、夕:400mg]、60kg を超え 80kg 以下:1日 800mg、80kg を超える:1日 1000mg[朝:400mg、夕:600mg]) ペグインターフェロン -2a は、1回 180 $\mu$ g を週 1 回皮下注

**【警】** 催奇形性が報告されているので、妊婦又はその可能性のある婦人には投与しないこと 催奇形性及び精巣・精子の形態変化等の報告あり、妊娠する可能性のある女性患者及びパートナーが妊娠する可能性のある男性患者に投与する場合、避妊をさせる 精液中への移行が否定できない

**【禁】** 妊婦又はその可能性のある婦人 授乳中の婦人 本剤成分過敏症 ヌクレオシドアナログ(アシクロビル、ガンシクロビル、ピダラビン等)過敏症 コントロール困難な心疾患(心筋梗塞、心不全、不整脈等) 異常ヘモグロビン症(サラセミア、鎌状赤血球性貧血等) 慢性腎不全又はクレアチニンクリアランスが 50mL/分以下の患者 重度のうつ病、自殺念慮又は自殺企図等の重度の精神病状態又はその既往 重度の肝機能障害 自己免疫性肝炎

**【重大な副作用】** 貧血 汎血球減少 無顆粒球症 白血球減少 血小板減少 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP) 溶血性尿毒症症候群(HUS) 再生不良性貧血 間質性肺炎 肺浸潤 呼吸困難 うつ病 自殺念慮 自殺企図 肝炎の増悪 肝機能障害 自己免疫現象 心筋症 心不全 狭心症 不整脈 心筋梗塞 心内膜炎 心膜炎 敗血症 脳出血 脳梗塞 肺塞栓症 意識障害 痙攣 てんかん発作 見当識障害 昏睡 せん妄 錯乱 幻覚 痴呆様症状 糖尿病 甲状腺機能異常 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群) 多形紅斑 乾癬 急性腎不全 ネフローゼ症候群 消化管出血 消化性潰瘍 虚血性大腸炎 ショック 網膜症

## 抗HIV剤

ラミブジン・アバカビル硫酸塩

lamivudine・abacavir sulfate

**エプジコム** Epzicom

G S K

コード

薬価

錠(劇):3TC:300mg/ABC:600mg [I7シ01] 3,870.5

【効】HIV 感染症

【用】1回1錠を1日1回

**【警】アバカビル投与患者に過敏症発現を認めており、まれに致死的となる通常治療開始6週以内(中央値11日)に発現するが、その後も継続して十分観察 次の症状が多臓器及び全身に発現、皮疹、発熱、胃腸症状、疲労感、けん怠感、呼吸器症状等 症状発現した場合、直ちに担当医に報告させ、過敏症が疑われたときは投与中止 過敏症発現した場合、決してアバカビル製剤再投与しない 再投与により数時間以内にさらに重篤な症状発現し、重篤な血圧低下が発現及び死に至る可能性あり 呼吸器疾患、インフルエンザ様症候群、胃腸炎、併用薬剤による副作用と考えられる症状発現、胸部X線像異常が認められた場合でも、アバカビルによる過敏症の可能性を考慮し、過敏症が否定できない場合は直ちに投与中止、決して再投与しない 過敏症について必ず説明、過敏症を注意するカードを常に携帯するよう指示 過敏症を発現した患者には、アバカビル製剤を二度と服用しないよう十分指導 B型慢性肝炎を合併している患者では、ラミブジン投与中止により、B型慢性肝炎が再燃するおそれあり、本剤投与中断する場合十分注意 非代償性の場合、重症化するおそれあるので注意**

**【禁】本剤成分過敏症 重度の肝障害患者**

【重大な副作用】過敏症 赤芽球瘡 汎血球減少 貧血 白血球減少 好中球減少 血小板減少 膵炎 乳酸アシドーシス及び脂肪沈着による重度の肝腫大(脂肪肝) 横紋筋融解症 ニューロパシー 錯乱 痙攣 心不全 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)

【備考】核酸系逆転写酵素阻害剤配合剤



## 白金系抗腫瘍剤

シスプラチン cisplatin

プラトシン Platosin

協和発酵キリン

コード 薬価

注〔毒〕:10mg/20mL/V [ﾌﾌﾄ61] 2,878

注〔毒〕:25mg/50mL/V [ﾌﾌﾄ62] 6,601

注〔毒〕:50mg/100mL/V [ﾌﾌﾄ63] 12,098

【効】＜通常療法＞(1)睾丸腫瘍 膀胱癌 腎盂・尿管腫瘍 前立腺癌 卵巣癌 頭頸部癌 非小細胞肺癌 食道癌 子宮頸癌 神経芽細胞腫 胃癌 小細胞肺癌 骨肉腫 胚細胞腫瘍(精巣腫瘍、卵巣腫瘍、性腺外腫瘍) 悪性胸膜中皮腫 (2)次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法:(a)悪性骨腫瘍、(b)子宮体癌(術後化学療法、転移・再発時化学療法) (c)再発・難治性悪性リンパ腫 (d)小児悪性固形腫瘍(横紋筋肉腫、神経芽腫、肝芽種その他肝原発悪性腫瘍、髓芽腫等) < M - V A C 療法 > 尿路上皮癌

【用】＜通常療法＞(1)睾丸腫瘍,膀胱癌,腎盂・尿管腫瘍,前立腺癌...A 法(C 法) 卵巣癌...B 法(A 法,C 法) 頭頸部癌...D 法(B 法) 非小細胞肺癌...E 法(F 法) 食道癌...B 法(A 法) 子宮頸癌...A 法(E 法) 神経芽細胞腫,胃癌,小細胞肺癌...E 法 骨肉腫...G 法 胚細胞腫瘍...F 法(他の抗悪性腫瘍剤と併用) 悪性胸膜中皮腫...H 法 (ペメトレキセドとの併用)

A 法:1 日 1 回 15 ~ 20 mg/m<sup>2</sup>,5 日間連続後 2 週間以上休薬 B 法:1 日 1 回 50 ~ 70 mg/m<sup>2</sup>,3 週間以上休薬 C 法:1 日 1 回 25 ~ 35 mg/m<sup>2</sup>,1 週間以上休薬 D 法:1 日 1 回 10 ~ 20 mg/m<sup>2</sup>,5 日間連続後 2 週間以上休薬 E 法:1 日 1 回 70 ~ 90 mg/m<sup>2</sup>,3 週間以上休薬 F 法:1 日 1 回 20 mg/m<sup>2</sup>,5 日間連続後 2 週間以上休薬 G 法:1 日 1 回 100 mg/m<sup>2</sup>,3 週間以上休薬 (いずれも適宜増減) H 法:1 日 1 回 75 mg/m<sup>2</sup>,20 日間以上休薬 (適宜減量)

(2)(a)〔ドキシソルビシン塩酸塩と併用〕100 mg/m<sup>2</sup>を1日1回,3週間以上休薬〔単独〕G 法 (いずれも適宜減量) (b)〔ドキシソルビシン塩酸塩と併用〕50 mg/m<sup>2</sup>を1日1回,3週間以上休薬 (適宜減量) (c)〔他の抗悪性腫瘍剤と併用〕1日量 100 mg/m<sup>2</sup>を1日間持続静注,20 日間以上休薬、又は1日量 25 mg/m<sup>2</sup>を4日間連続持続静注後 17 日間以上休薬(適宜減) (d)〔他の抗悪性腫瘍剤と併用〕60 ~ 100 mg/m<sup>2</sup>を1日1回投与,3 週間以上休薬、又は 20 mg/m<sup>2</sup>を1日1回 5 日間連続投与後 2 週間以上休薬(適宜減) < M

- V A C療法>メトトレキサート30 mg/m<sup>2</sup>を1日目に投与後、2日目にビンブラスチン硫酸塩 3 mg/m<sup>2</sup>、ドキシソルビシン塩酸塩 30 mg/m<sup>2</sup>及びシスプラチン 70 mg/m<sup>2</sup>を静注 15日目及び22日目にメトトレキサート30 mg/m<sup>2</sup>及びビンブラスチン硫酸塩 3 mg/m<sup>2</sup>を静注 これを1クールとし4週毎に繰り返す

<腎毒性軽減処置> [成人](1)本剤投与前、1000~2000 mLの輸液を4時間以上かけて投与 (2)投与時は投与量に応じ500~1000 mLの生食又はブドウ糖-食塩液に混和し2時間以上かけて点滴静注(長時間の場合は遮光) (3)投与終了後、1000~2000 mLの輸液を4時間以上かけて投与 (4)投与中は尿量確保に注意し、必要に応じマンニトール、フロセミド等の利尿剤を投与 [小児](1)本剤投与前、300~900 mL/m<sup>2</sup>の輸液を2時間以上かけて投与 (2)投与時は投与量に応じ300~900 mL/m<sup>2</sup>の生食又はブドウ糖-食塩液に混和し2時間以上かけて点滴静注(長時間の場合は遮光) (3)投与終了後、600 mL/m<sup>2</sup>以上の輸液を3時間以上かけて投与 (4)投与中は尿量確保に注意し、必要に応じマンニトール、フロセミド等の利尿剤を投与

**【警】緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験をもつ医師のもとで実施 適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照 有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与 小児悪性固形腫瘍に対するがん化学療法は、小児のがん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで実施**

**【禁】重篤な腎障害 本剤又は他の白金含有薬剤過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人**

**【重大な副作用】急性腎不全 汎血球減少等の骨髄抑制 ショック アナフィラキシー様症状 聴力低下 難聴 耳鳴 うっ血乳頭 球後視神経炎 皮質盲 脳梗塞 一過性脳虚血発作 溶血性尿毒症症候群 心筋梗塞 狭心症 うっ血性心不全 不整脈 溶血性貧血 間質性肺炎 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 劇症肝炎 肝機能障害 黄疸 消化管出血 消化性潰瘍 消化管穿孔 急性膵炎 高血糖 糖尿病の悪化 横紋筋融解症**

**【備考】白金系**

## その他の腫瘍用薬

スニチニブリンゴ酸塩 sunitinib malate

スーテント Sutent

ファイザー

コード

薬価

Cap(劇):12.5mg

[ステン01]

8546.3

【効】イマチニブ抵抗性の消化管間質腫瘍 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌

【用】1日1回50mgを4週間連日投与後2週間休薬(1コース)(適宜減量)

【警】緊急時に十分対応できる医療施設において、十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施 有効性及び危険性を十分説明、同意を得てから投与 心不全等の重篤な心障害があらわれ、死亡に至った例も報告 投与開始前に、患者の心機能を確認 投与中は適宜心機能検査を行い患者の状態を十分観察 可逆性後白質脳症症候群(RPLS)があらわれることあり 疑われた場合、投与中止、適切な処置

【禁】本剤成分過敏症 妊婦又はその可能性のある女性

【原禁】QT 間隔延長又はその既往

【重大な副作用】骨髄抑制 感染症 高血圧 出血 消化管穿孔 QT 間隔延長 心室性不整脈(Torsade de pointesを含む) 心不全 左室駆出率低下 肺塞栓症 深部静脈血栓症 血栓性微小血管症 てんかん様発作 可逆性後白質脳症症候群 急性膵炎 甲状腺機能障害 肝不全 肝機能障害 黄疸 間質性肺炎 急性腎不全 ネフローゼ症候群 横紋筋融解症 ミオパシー 副腎機能不全

【備考】キナ-ゼ'阻害作用

## ホルモン療法剤

ゴセレリン酢酸塩 goserelin acetate

**ゾラデックスデポ** Zoladex

アストラゼネカ

コード 薬価

LA 注(劇) : 10.8mg/筒

[ゾラテ 62]

82,744

**【効】**前立腺癌

**【用】**[LA 注]12～13週に1回 10.8mg 前腹部皮下注

**【禁】**本剤成分又は LH-RH 作動薬過敏症

**【重大な副作用】**アナフィラキシー 肝機能障害 黄疸 間質性肺炎 前立腺癌随伴症状の増悪 糖尿病の発症又は増悪

**【備考】**LH-RH アゴニスト

## 血球減少予防・治療剤

エポエチン (遺伝子組換え)

epoetin beta(genetical recombination)

**エポジン** Epogin

中外

コード

薬価

注(劇):750 単位/シリンジ

[Iホシ72]

1,383

**【効】**(1)透析施行中の腎性貧血 (2)透析導入前の腎性貧血 (3)未熟児貧血

**【用】**[静注](1)1回 3000 I.U.週 3回緩徐に投与 維持量 1回 1500 I.U.週 2~3回又は 1回 3000 I.U.週 2回投与 (適宜増減) 最高 1回 3000 I.U.週 3回まで (2)1回 6000 I.U.週 1回緩徐に投与 維持量 1週当たり 6000 I.U.以下で適宜調整 [皮下注](3)1回 200 I.U./kg を週 2回投与 (適宜増減)

**【禁】**本剤又は他のエリスロポエチン製剤,ダルベポエチンアルファ製剤過敏症

**【重大な副作用】**ショック アナフィラキシー様症状 高血圧性脳症 脳出血 心筋梗塞 肺梗塞 脳梗塞 肝機能障害 黄疸 赤芽球癆

**【備考】**セラチン非含有

## その他のリウマチ・関節症治療剤

アダリムマブ (遺伝子組換え)

adalimumab(genetical recombination)

**ヒュミラ** Humira

エーザイ

コード

薬価

皮下注(劇):40mg/0.8mL/シリンジ [ヒミ61] 71,097

【効】関節リウマチ (既存治療で効果不十分な場合に限る)

【用】40mg を 2 週に 1 回皮下注 1 回 80mg まで増量可

**【警】重篤な感染症及び脱髄疾患の発生・悪化等、悪性腫瘍の発現の報告あり** 本剤が疾病を完治させる薬剤でないことも含め、患者に十分説明し、理解を得た上で有益性投与 緊急時の対応が十分可能な医療施設及び医師が使用、副作用が発現した場合には主治医に連絡するよう患者に注意を与える 致命的な感染症が報告されているため、十分観察、感染症発症注意 結核が発症し、致命的な例も報告されている 結核に関する十分な問診、胸部 X 線検査及びツベルクリン反応検査を行い、適宜胸部 CT 検査等を行うことにより結核感染の有無を確認 結核既感染者には抗結核薬を投与の上、本剤投与 ツベルクリン反応等検査が陰性の患者において投与後活動性結核が認められた例あり 脱髄疾患の発生・悪化の報告あり 脱髄疾患及びその既往歴のある患者には投与しないこと 脱髄疾患を疑う患者や家族歴を有する患者に投与する場合には、適宜検査を実施、十分観察 本剤治療前に、少なくとも 1 剤の抗リウマチ薬等の使用を十分勘案 十分な知識・治療の経験をもつ医師が使用 自己投与の場合もその管理指導のもとで使用

**【禁】重篤な感染症 (敗血症等) 活動性結核 本剤成分過敏症 脱髄疾患及びその既往 うっ血性心不全**

【重大な副作用】重篤感染症 結核 ループス様症候群 脱髄疾患 重篤なアレルギー反応 重篤な血液障害 間質性肺炎

【備考】ヒト型抗ヒト TNF モノクローナル抗体

## その他の解熱鎮痛剤

アセトアミノフェン acetaminophen

**カロナール** Calonal

昭和薬化工

コード 薬価

細粒(劇):200mg/g

[カナ02]

9.4

**【効】**(1)頭痛,耳痛,症候性神経痛,腰痛症,筋肉痛,打撲痛,捻挫痛,月経痛,分娩後痛,がんによる疼痛,歯痛,歯科治療後の疼痛 (2)次の疾患の解熱・鎮痛:急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む) (3)小児科領域の解熱・鎮痛

**【用】**(1)1回 300~500 mg, 1日 900~1500 mg(適宜増減) (2)1回 300~500 mgを頓用(適宜増減) 原則として1日2回まで, 1日最大量1500 mg (3)1回 10~15 mg/kg 投与間隔4~6時間以上 1日総量60 mg/kgを越えない(適宜増減)

**【禁】**消化性潰瘍 重篤な血液異常 重篤な肝障害 重篤な腎障害 重篤な心機能不全 本剤成分過敏症 アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発)又はその既往

**【重大な副作用】**ショック アナフィラキシー様症状 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell症候群) 喘息発作の誘発 肝機能障害 黄疸 顆粒球減少症

## 抗精神病薬 フェノチアジン系

クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩

chlorpromazine phenolphthalinate

**ウインタミン** Wintermin

塩野義

コード

薬価

細粒(劇):100mg/g

[ウイン02]

7.1

**【効】**統合失調症 躁病 神経症における不安・緊張・抑うつ 悪心・嘔吐 吃逆 破傷風に伴うけいれん 麻酔前投薬 人工冬眠 催眠・鎮静・鎮痛剤の効力増強

**【用】**1日 30～100 mg を分服 精神科領域:50～450 mg 分服(適宜増減)

**【禁】**昏睡状態 循環虚脱状態 中枢神経抑制剤の強い影響下 アドレナリン フェノチアジン系化合物及びその類似化合物過敏症

**【原禁】**皮質下部の脳障害の疑い

**【重大な副作用】**Syndrome malin(悪性症候群) 突然死 再生不良性貧血 溶血性貧血 麻痺性イレウス 遅発性ジスキネジア 遅発性ジストニア 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH) 眼障害 SLE 様症状 肝機能障害 黄疸 横紋筋融解症 無顆粒球症 心室頻拍



## 鎮痙剤

ネオスチグミンメチル硫酸塩/アトロピン硫酸塩水和物

neostigmine methylsulfate/atropine sulfate hydrate

<b>アトワゴリバース</b>	AtvagoReverse	テルモ
	コード	薬価
注〔劇〕：3mL/シリンジ	[アワ 61]	404
注〔劇〕：6mL/シリンジ	[アワ 62]	615

【効】非脱分極性筋弛緩剤の作用の拮抗

【用】1回 1.5～6mL を緩徐に静注(適宜増減)

【警】緊急時に十分対応できる医療施設において、作用及び使用法について熟知した医師のみが使用

【禁】消化管又は尿路の器質的閉塞 本剤成分過敏症 迷走神経緊張症 脱分極性筋弛緩剤(スキサメトニウム) 緑内障 前立腺肥大による排尿障害 麻痺性イレウス

【重大な副作用】コリン作動性クリーゼ 不整脈 ショック アナフィラキシー様症状

【備考】ネオスチグミンメチル硫酸塩：アトロピン硫酸塩(3mL, 1.0mg:0.5mg、6mL, 2.0mg:1.0mg)

## 末梢性骨格筋弛緩剤

A型ボツリヌス毒素 botulinum toxin type A

ボトックス Botox

G S K

コード

薬価

注(毒):50 単位/V

[ホツ 62]

51,062

【効】(1)眼瞼痙攣 (2)片側顔面痙攣 (3)痙性斜頸 (4)2歳以上の小児脳性麻痺患者における下肢痙縮に伴う尖足

【用】(1)初回 1.25～2.5 単位/部位を 1 眼当たり眼輪筋 6 部位の筋注 2 カ月以内の再投与は避ける 再発時、初回投与量の 2 倍まで可(適宜減量) 1 カ月に 45 単位以上の投与は避ける (2)次の用量を痙攣筋に筋注(痙攣筋が複数の場合、分割投与):初回合計 10 単位投与 4 週間観察し、効果不十分な場合は合計 20 単位を上限として追加 症状再発時、合計 30 単位を上限とし再投与(2 カ月以内の再投与は避ける) (3)次の用量を緊張筋に筋注(緊張筋が複数の場合、分割投与):初回合計 30～60 単位投与 4 週間観察し、効果不十分な場合は合計 180 単位を上限として追加 症状再発時、合計 240 単位を上限とし再投与(2 カ月以内の再投与は避ける) (4)4 単位/kg を罹患している腓腹筋の内側頭・外側頭の各々 2 ヶ所に筋注 両下肢に投与の場合、4 単位/kg を両肢に分割投与 効果不十分な場合はヒラメ筋、後脛骨筋等へ投与可(適宜増減) 1 回最大総投与量 200 単位 再投与は前回の効果消失の場合に可能であるが、3 ヶ月以内の再投与は避ける

【警】眼瞼痙攣、片側顔面痙攣、痙性斜頸及び 2 歳以上の小児脳性麻痺患者における下肢痙縮に伴う尖足以外には使用しない 講習を受けた医師で、本剤の安全性及び有効性を十分理解し、高度な解剖学的知識、筋電図測定技術、施注手技に関する十分な知識・経験のある医師のみ使用 痙性斜頸患者への投与により、呼吸困難に至ったとする報告あり 眼瞼痙攣患者に、1 回投与量として 100 単位を投与し、投与筋以外の遠隔筋に対する影響と考えられる呼吸困難及び筋無力症が発現した報告あり

【禁】全身性神経筋接合部障害 痙性斜頸において高度の呼吸機能障害 妊娠又はその可能性のある婦人及び授乳婦 本剤成分過敏症

【重大な副作用】重篤な角膜露出 持続性上皮欠損 角膜潰瘍 角膜穿孔 アナフィラキシー様症状 呼吸障害 嚥下障害 ショック 血清病 痙攣発作

【備考】A 型ボツリヌス毒素製剤

## アンジオテンシン 受容体拮抗薬・利尿薬合剤

カンテサルタン シレキセチル 8mg/ヒドロクロロチアジド 6.25mg

candesartan cilexetil/hydrochlorothiazide

**エカード** Ecard

武田

コード

薬価

錠:HD

[Eカト01]

163.7

【効】高血圧症

【用】1日1回1錠 経口投与 高血圧治療の第一選択薬として用いない

【禁】本剤成分過敏症 チアジド系薬剤又はその類似化合物に対する過敏症

無尿 血液透析患者 急性腎不全 体液中のナトリウム・カリウムの明らかな減少 妊婦又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】血管浮腫 ショック 失神 意識消失 急性腎不全 高カリウム血症 肝機能障害 黄疸 無顆粒球症 横紋筋融解症 間質性肺炎 低血糖 再生不良性貧血 溶血性貧血 壊死性血管炎 肺水腫 全身性エリテマトーデスの悪化 アナフィラキシー様反応 中毒性表皮壊死症(Lyell症候群) 間質性腎炎

【備考】ARB・利尿薬合剤

## アンジオテンシン 受容体拮抗薬・利尿薬合剤

バルサルタン 80mg/ヒドロクロロチアジド 12.5mg

valsartan/hydrochlorothiazide

**コディオ** Co-dio

ノバルティス

コード 薬価

錠:EX

[コティ04] 139.3

**【効】** 高血圧症

**【用】** 1日1回1錠 経口投与 高血圧治療の第一選択薬として用いない

**【禁】** 本剤成分過敏症 チアジド系薬剤又はその類似化合物過敏症 妊婦又はその可能性のある婦人 無尿 透析患者 急性腎不全 体液中のナトリウム・カリウムの明らかな減少

**【重大な副作用】** アナフィラキシー様症状 血管浮腫 肝炎 腎不全 高カリウム血症 ショック 失神 意識消失 無顆粒球症 白血球減少 血小板減少 再生不良性貧血 溶血性貧血 壊死性血管炎 中毒性表皮壊死症(Lyell症候群) 間質性肺炎 肺水腫 全身性エリテマトーデスの悪化 低血糖

**【備考】** ARB・利尿薬合剤

## 整腸剤

ジメチコン dimethicone

**バルギン** Balgin

カイゲン

コード

薬価

消泡液: 20mg/mL

[ハルキ01]

2.70

【効】(1)胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善 (2)胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去 (3)腹部 X 線検査時における腸内ガスの駆除

【用】(1)(3)1 日 120 ~ 240 mg を食後又は食間 3 回に分服[(3)は検査 3 ~ 4 日前より服用] (適宜増減) (2)検査 15 ~ 40 分前に 40 ~ 80 mg, 約 10 mL の水と共に服用 (適宜増減)

【備考】シリコンによる消泡作用

## その他の消化管作用薬

メサラジン mesalazine

**ペンタサ** Pentasa

杏林

コード

薬価

錠:500mg

[ハクタ03]

118.8

【効】(1)潰瘍性大腸炎(重症を除く) (2)クローン病

【用】(1)1日 1,500 mg 小児:1日 30~60 mg/kg を食後3回に分服(適宜増減) 最高1日 2,250 mg 活動期には1日 4,000 mg を2回に分服可 (2)1日 1,500~3,000 mg 小児:1日 40~60 mg/kg を食後3回に分服(適宜減量、小児:適宜増減)

**【禁】重篤な腎障害 重篤な肝障害 本剤成分過敏症 サリチル酸エステル類又はサリチル酸塩類過敏症**

【重大な副作用】過敏性肺障害 心筋炎 心膜炎 胸膜炎 間質性腎炎 ネフローゼ症候群 腎機能低下 急性腎不全 再生不良性貧血 汎血球減少 無顆粒球症 血小板減少症 肝炎 黄疸 膵炎

【備考】炎症性腸疾患 サラゾピリンの分解産物スルファピリジンを除き副作用軽減ステロイド抵抗性・依存性にも有効

## 含嗽剤

ポビドンヨード povidone iodine

**ポピロンガーグル** Popyron Gargle 日本新薬

コード 薬価

液: 30mL/本 [ホビロ 41] 78

液: 250mL/本 [ホビロ 42] 650

**【効】**咽頭炎、扁桃炎、口内炎、抜歯創を含む口腔創傷の感染予防、口腔内の消毒

**【用】**2～4 mL を水約 60 mL に希釈し 1 日数回うがい

**【禁】**本剤又はヨウ素過敏症

**【重大な副作用】**ショック アナフィラキシー様症状

## 緑内障治療剤

タフルプロスト tafluprost

**タプロス** Tapros

参天

薬価

点眼液(劇):0.0015%2.5mL

コード  
[タ7041]

2,400

**【効】**緑内障 高眼圧症

**【用】**1回1滴を1日1回点眼 1日1回を超えて投与しない

**【禁】**本剤成分過敏症

**【重大な副作用】**虹彩色素沈着

**【備考】**室温保存



## 緑内障治療剤

トラボプロスト travoprost

**トラバタンズ** Travatanz

アルコン

コード

薬価

点眼液: 0.004% 2.5mL

[トラハ 41]

2,459

**【効】** 緑内障 高眼圧症

**【用】** 1回1滴を1日1回点眼 1日1回を超えて投与しない

**【禁】** 本剤成分過敏症

**【重大な副作用】** 虹彩色素沈着

**【備考】** ベンザルコニウム塩化物非含有

## 眼科用内用・注射用剤

ペガプタニブナトリウム pegaptanib sodium

**マクジェン** Macugen

ファイザー

コード 薬価

注〔劇〕: 0.3mg/90  $\mu$ L/シリンジ [マクシ 61] 123,457

【効】中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症

【用】1回 0.3 mg を 6 週毎に硝子体内投与

**【禁】本剤成分過敏症 眼又は眼周囲の感染又はその疑い**

【重大な副作用】眼障害 ショック アナフィラキシー様症状

【備考】硝子体内注射用キット製剤 選択的 VEGF165 阻害剤

## 皮膚欠損治療剤

精製白糖・ポビドンヨード sucrose·povidone-iodine

**イソジンシュガーパスタ** Isodine Sugar Paste

明治製菓

コード 薬価

軟膏:100g

[イソ 51]

1,720

**【効】** 褥瘡 皮膚潰瘍(熱傷潰瘍,下腿潰瘍)

**【用】** 潰瘍面を清拭後,1日1~2回ガーゼにのばして貼付,又は患部に直接塗布し、ガーゼで保護

**【禁】** 本剤又はヨウ素に対し過敏症

**【重大な副作用】** ショック アナフィラキシー様症状

**【備考】** 1g中:精製白糖 0.7g ポビドンヨード 0.03g

## その他の麻薬

フェンタニル fentanyl

**デュロテップ** Durotep

ヤンセンファーマ

コード 薬価

MT パッチ〔麻〕〔劇〕:4.2mg

[テ10 43] 3,467.8

MT パッチ〔麻〕〔劇〕:8.4mg

[テ10 44] 6,538.9

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、3日毎(約72時間)に貼り替えて使用(オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用)

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】依存性 呼吸抑制 意識障害 ショック アナフィラキシー様症状 痙攣

【備考】経皮吸収型持続性癌疼痛治療剤

## X線造影剤(ヨード製剤)

イオメプロール iomeprol

**イオメロン** lomeron

エーザイ

コード

薬価

注 350:135mL/シリンジ

[イオメ67]

18,353

**【効】**350:心臓血管撮影,胸部血管撮影,腹部血管撮影,四肢血管撮影,デジタル X 線撮影法による静脈性・動脈性血管撮影,コンピュータ断層撮影における造影,静脈性尿路撮影

**【警】**ショック等の重篤な副作用 脳槽・脊髄造影には使用しない

**【禁】**ヨード又はヨード造影剤過敏症 重篤な甲状腺疾患

**【原禁】**一般状態の極度に悪い患者 気管支喘息 重篤な心障害 重篤な肝障害 重篤な腎障害 急性膵炎 マクログロブリン血症 多発性骨髄腫 テタニー 褐色細胞腫又はその疑い

**【重大な副作用】**ショック アナフィラキシー様症状 肺水腫 成人呼吸窮迫症候群 心室細動 冠動脈攣縮 肝機能障害 黄疸 脳血管障害 痙攣発作 意識障害 失神 麻痺 腎不全 血小板減少 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens Johnson 症候群)

**【備考】**水溶性、非イオン性、モノマー型

分類	一般名	商品名(会社名)	規格	作用発現時間(時間)	最大作用時間(時間)	作用持続時間(時間)	適用	薬価
攻超 型速	インスリンスプ <sup>®</sup> (遺伝子組換え)	ヒューマログ <sup>®</sup> 注ミリア <sup>®</sup> Humalog (リリ-)	水溶性 <sup>劇</sup> 300U/3mL	0.25以内	0.5-1.5	3-5	皮下	1,906
一 相 製 劑	インスリンスプ <sup>®</sup> (遺伝子組換え)	ヒューマログ <sup>®</sup> ミックス50注ミリア <sup>®</sup> Humalog Mix50 (リリ-) インスリンスプ <sup>®</sup> :中間型インスリンスプ <sup>®</sup> =50:50	水懸性 <sup>劇</sup> 300U/3mL	< 0.25	0.5-4	18-24	皮下	1,909
型持 続	インスリン <sup>®</sup> ラルギン (遺伝子組換え)	ランタス注ソロスター Lantus (サノフィ・アベンティス)	水溶性 <sup>劇</sup> 300U/3mL	1.11	-	22.8	皮下	2,457